

20ダ乙第002号
2020年4月7日

加盟団体・協力団体・認定教室・会員各位

(公財)日本ボールルームダンス連盟
専務理事 石原 久嗣



新型コロナウイルス感染症拡大回避に向けた指針

標記の件、新型コロナウイルス感染症拡大回避に向け、JBDFとして以下により指針を定めます。内容ご理解のうえ、ご対応のほどよろしくお願ひいたします。

なお、本指針は、新型コロナウイルス感染への懸念が低下するまで、継続するものといたします。

◆競技会等のイベント対応について

4月2日開催の業務執行理事会において、6月20日・21日、エディオンアリーナ大阪にて開催予定の第41回2020年日本インターナショナルダンス選手権大会の開催中止を決定いたしました。

については、加盟団体等におかれましても競技会等のイベントについて、6月末まで開催を自粛するようお願いいたします。

また、7月以降の開催については、地域における感染者の実情やその必要性等にかんがみて、主催者が開催する必要があると判断する際には、以下①～③などを十分注意して開催していただきますようお願いいたします。

なお、そうしたリスクへの対応が整わない場合は、中止または延期をしていただくとともに、こうした対策を行っていた場合でも、開催時点での流行状況に合わせて、急な中止又は延期をしていただく備えを、お願ひいたします。

【 リスク対応 】

- ① 人が集まる場の前後も含めた適切な感染予防対策の実施
- ② 密閉空間・密集場所・密接場面などクラスター(集団)感染発生リスクが高い状況の回避
- ③ 感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力

(別添「多くの人に参加する場での感染対策のあり方の例」参照)

◆教室等の対応について

各教室とお客様相互で感染を未然に防ぐ環境を構築していただきますよう、お願ひいたします。

1. 発熱などの諸症状があるお客様へのご対応

- ・37.5 度以上の発熱が確認されたお客様には、ご利用をご遠慮いただく。
- ・咳や微熱などの風邪症状が見受けられるお客様や、強いだるさ(倦怠感)・息苦しきがあるお客様には、マスクの着用や検温をお願いする。

2. 教室の営業時における対応

- ・スタッフは常時マスクを着用する。
- ・消毒剤配置と消毒を推奨する。 ※入退所時、お客様に手指消毒のご案内
- ・スタッフによる定期消毒・清掃を行う。
- ・定期的に室内の換気を行う。

3. スタッフの健康管理

- ・出勤時に検温を徹底する。(37.5 度以上は即出勤停止)
- ・スタッフの家族等、同居者に感染者や感染者への接触があることが判明した場合、即出勤停止とし、他のスタッフやお客様との接触について正確な実態把握を行い、保健所へ通知し対応を協議する。

4. 感染者情報に接した場合の対処(保健所からの通知・本人からの通知)

- ・即時に保健所へ報告をする。(求められる情報の速やかな開示)
滞在者情報を提出する。
- ・保健所の指示に従った上で、関係者への周知を図る。
休業が必要な場合、保健所との協議により休業期間を定める。

◆緊急事態宣言が発表された場合の対応

(都道府県知事からの通知・政府からの要請)

- ・発表された内容、行政機関などの指導に則り、適切に対応する。

感染症対策に関する各種情報およびチラシ等は、次により入手可能です。

https://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html

以 上

別添【多くの人が参加する場での感染対策のあり方の例】

1)人が集まる場の前後も含めた適切な感染予防対策の実施

- 参加時に体温の測定ならびに症状の有無を確認し、具合の悪い方は参加を認めない。
- 過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方は参加しない。
- 感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内にある方は参加しない。
- 体調不良の方が参加しないように、キャンセル代などについて配慮をする。
- 発熱者や具合の悪い方が特定された場合には、接触感染のおそれのある場所や接触した可能性のある者等に対して、適切な感染予防対策を行う。
- 会場に入る際の手洗いの実施ならびに、イベントの途中においても適宜手洗いができるような場の確保。
- 主に参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので拭き取りを定期的に行う。
- 飛沫感染等を防ぐための徹底した対策を行う(例えば、「手が届く範囲以上の距離を保つ」、「声を出す機会を最小限にする」、「咳エチケットに準じて声を出す機会が多い場面はマスクを着用させる」など)

2)クラスター(集団)感染発生リスクの高い状況の回避

- 換気の悪い密閉空間にしないよう、換気設備の適切な運転・点検を実施する。定期的に外気を取り入れる換気を実施する。
- 人を密集させない環境を整備。会場に入る定員をいつもより少なく定め、入退場に時間差を設けるなど動線を工夫する。
- 大きな発声をさせない環境づくり(声援などは控える)
- 共有物の適正な管理又は消毒の徹底等

3)感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力

- 人が集まる場に参加した者の中に感染者がでた場合には、その他の参加者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれる体制を確保する。
- 参加した個人は、保健所などの聞き取りに協力する、また濃厚接触者となった場合には、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性がある。

4)その他

- 食事の提供は、大皿などでの取り分けは避け、パッケージされた軽食を個別に提供する等の工夫をする。
- 終了後の懇親会は、開催しない・させないようにする。

※ 上記は例であり、様々な工夫が考えられる。

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

3つの「密」を避けましょう!

①換気の悪い
密閉空間



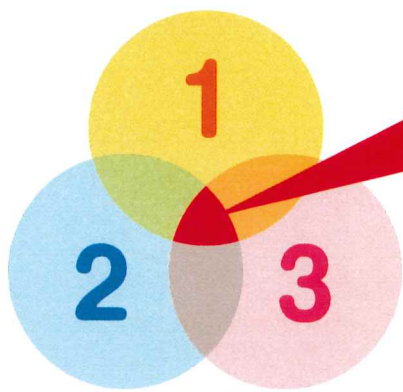
②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。





感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

1



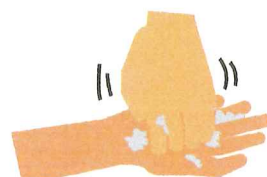
流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗います。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う



2 ゴムひもを耳にかける



3 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索

